

ボランティア ニュース

自分力アップ応援プログラム第1回目

「小・中学校入学時の進路選択についての勉強会」を開催しました！

4 月 24 日に、障がいのある子どもを育てる家族、また子の発達が気になっている家族を対象に「小・中学校入学時の進路選択についての勉強会」を開催しました。

また、今年度は自分力アップ応援プログラムと共催しており、普段子ども達の見守りや支援をしてくださっている、地域の皆さんや専門職の方と一緒に学ぶことができました。

講師に広島学びのサポートセンター代表理事の橘 恵（たちばな めぐみ）さんを迎え、参加者 23 人と進路の選択について学びました。



を開催しました！



「今困っていること」を考えるのも大切！
ですが「何歳頃までにどのようなようになってほしいか、将来のイメージを持つこと」から始めてみましょう！
(橘 恵さん)



発達段階の成長目安を教えてくださいました

小学校入学時（年長の夏から秋の時点）

- ・「生活面」「行動面」「理解面」または「聞く」「見る」「話す」等が学年相応？
→年齢に沿った行動ができるか。
- ・「我慢」することができる？
→したいことがあっても「指示なく動かない」
- ・「周り」を気にすることができる？
→恥ずかしいという気持ちが芽生えているか。
- ・高学年頃に最低 1 人友達と呼べる人がいる？



中学校入学時

- ・イヤなことでも「指示通りに動くこと」ができる？
→しなくてはいけないものをきちんとこなすことができる。
- ・「仲間」がいる？



高校以上

- ・1 人で行動することができる？
- ・「しなくてはいけないものはする」が身についている？
- ・一人暮らしできる（ような）力がある？
→寮生活、一人暮らしが始まる人もいる。
お金のやりくり、カードの使い方や電気、ガスなど、生活で必要なことができる。

子が成長していく上で大事なことは…

- 本人のしたいこと、希望を聞き一緒に考えること（親の気持ちだけで物事を進めない）
- どんな小さなことでも、たくさん体験、経験させること（成功も失敗もどちらも大事）
- 言葉のシャワーをたくさんかけてあげること
- 子が親に頼ってくれる関係になること
- 困った時の連絡、助けを求める方法を教えること
- 余暇活動(自由な時間)を過ごす方法を知ること
- 受験など、頑張って壁を超える経験をさせること

参加者の感想

- ・子の将来を見据えて関わりを…というお話が心に残りました。今が精一杯でその視野は立てていなかったもので、今後心に持ちながら関わっていきたいと思います。
- ・八方塞がりのような気持ちでいましたが、講座のおかげで母親として「何をすべきか」が分かってきたように思えました。もう少し、子どもと頑張って向き合えるようになりたいです。
- ・我が家の問題点に気づくことができ、私自身も発達課題のイメージがとれていないこと等すぐに解決しようと思いました。
- ・具体的な事例を聞いたことで、未来を想像しやすくてとても学びがありました。何から考えたらいいのか、何を基準にしたら良いのかとモヤモヤしていたので、頭の中が整理できました。
- ・将来のロールモデルをイメージしやすかったです。特別支援学校、知的級、情緒級、通常級などの選択に関しての判断基準がとても分かりやすかったです。
- ・支援者の立場で参加しましたが、いつの間にか親の立場で聞いていました。



大野事務所新メンバー紹介

山田 知代（やまだ ともよ）

【自己紹介】

小学生の子どもの母です。
休みの日は子どもと外で遊んだり、ゲームをしたりしています。

【目標】

毎日、覚えることがたくさんあって悪戦苦闘しております。
早く仕事を覚えて少しでも戦力になりたいと思います。
よろしくお願いいたします！



おしらせ

障がいのある子どもを育てる家族の

おしゃべり会

障がいのある子どもを育てる保護者が集まって、さまざまな情報交換という名のおしゃべり会をしています。
お茶を飲みながらみんなでしゃべりませんか？
参加費は無料、時間内は出入り自由です。
気軽におしゃべりにきてください。



日時 令和7年6月17日(火)
10:00~12:00

場所 廿日市市大野支所内 3F
ボランティアセンター

問合せ 廿日市市社会福祉協議会 大野事務所
0829-55-3294
ohno@hatsupy.jp